

START プログラム募集要項（平成26年度前期）

- 第 17 回 ～台湾の多元的社会と日台関係をめぐる知的探検～
第 18 回 ～オーストラリアの多文化社会～
第 19 回 ～インドネシアの多様な文化と社会変動～

1. START プログラムとは

START（スタート）プログラムの目的は、海外経験の少ない新入生を対象に、海外の大学やその周辺都市を訪問し、日本と異なる文化や環境を体験する機会を提供し、国際交流や留学への関心を高めるきっかけをつくることです。また、START プログラムでは、参加費用の一部を広島大学基金から補助することで学生の経済的負担を減らし、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げることを目指しています。

2. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」（2 単位）

START プログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ」として実施しています。参加が決まった学生は、自動的に上記科目に履修登録され、成績評価を受けて、単位を習得できます。このプログラムは、広島大学の学生をグローバル人材として育成することを目指しており、以下のグローバル・コア・コンピテンシー（世界で通用する人材として必要となる能力）を向上します。

START プログラムで育成するグローバル・コア・コンピテンシー

- (1) コミュニケーション能力（国際的対話能力）
- (2) 自己管理能力
- (3) 成果を出す能力
- (4) 連携とネットワーク
- (5) 個性と文化の尊重

グローバル・コア・コンピテンシーは渡航前・渡航中・帰国後の3回にわたって自己評価を行い、行動計画を立てます。そして、担当教員のフィードバックをもとに行動計画を練り直し、実行に移します。成績評価では、参加態度・海外研修時の発表・帰国後のレポート等に基づき、総合的にグローバル・コア・コンピテンシーの向上を評価します。

「海外フィールドスタディ」については、My もみじに掲載されているシラバスもご参照ください。

3. 第 17～19 回 START プログラム共通項目

- a) プログラム内容： 広島大学の海外協定大学で 2 週間、現地大学教員による講義やワークショップ、現地公用語の語学授業、現地学生との交流、大学周辺及び周辺都市でのエクスカージョンなどを行います。また、きめ細やかな事前学習・事後学習を通じて現地での体験をより効果的に吸収し、ふりかえり、内在化するプロセスをサポートします。
 - b) 対象学生： 学部 1 年生 *応募資格については 3 ページに別途記載
 - c) 募集人数： 第 17 回（台湾）及び第 18 回（オーストラリア）は 30 名
第 19 回（インドネシア）は 24 名
 - d) 学生負担費用： プログラム参加費（第 17 回（台湾）及び第 19 回（インドネシア）は 7 万円、第 18 回（オーストラリア）は 10 万円）、海外旅行保険料（大学指定のもの、約 1 万円）、パスポート申請費（5 年用 11,000 円）、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）など
- ※ プログラム参加費は、全体費用（航空券、査証（ビザ）申請料、宿泊費、プログラム費、一部の食費）の一部に充当されます。
- ※ JASSO 留学生交流支援制度（短期派遣）の支給要件を満たす方には、第 17 回（台湾）では 6 万円、第 18 回（オーストラリア）及び第 19 回（インドネシア）では 7 万円が奨学金として支給されます

が、これも全体費用の一部に充当させていただきますので、ご了承願います。

- e) その他： 本プログラムは、事前学習・事後学習を含むすべての行事に参加することが参加の条件です。
また、研修終了後にレポートの提出及びプログラム評価への協力が義務付けられています。

4-1. 第 17 回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先： 台湾 台北市ほか、 国立政治大學
b) 実施期間： ①事前研修：2014 年 6 月～8 月
②渡航期間：2014 年 9 月 2 日（火）～9 月 16 日（火）（14 泊 15 日）
※ 羽田空港集合・解散
③事後研修：2014 年 10 月 1 日（水）18:00-20:00（予定）
c) 引率： 広島大学社会科学部 前田直樹 講師 ほか
d) 宿泊場所： YMCA ホテル（台北駅から徒歩 3 分）を予定（2 人または 3 人 1 部屋）

4-2. 第 17 回研修先の紹介：National Chengchi University

- a) 国立政治大學 <http://www.nccu.edu.tw/>
国立政治大學（NCCU）は、1927 年に創立されており、文学部、理学部、社会科学部、法学部、商学部、外国語文学部、コミュニケーション学部、国際関係学部及び教育学部の 9 つの学院（学部）、33 学系（学科）、14 研究センターを備え、また幼稚園から博士課程までを擁する国立大学です。広島大学とは 2012 年から協定を結んでいます。
b) 台北市
国立政治大學のある台北市は台湾最大の都市圏である台北都市圏の中核都市であり、アジア屈指の世界都市でもあります。台北市には、近代的な大通りの風景が見られるだけでなく、火山地形として知られている陽明山国家公園や「故宮博物院」など多数の観光地があり、モダンと伝統が織り成すコントラストを感じられる都市です。

5-1. 第 18 回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先： オーストラリア 南オーストラリア州アデレード市 フリンダース大学
b) 実施期間： ①事前研修：2014 年 6 月～8 月
②渡航期間：2014 年 9 月 12 日（金）～9 月 29 日（月）（17 泊 18 日）
※ 羽田空港集合・解散（予定）
③事後研修：2014 年 10 月上旬 放課後または土曜日
c) 引率： 広島大学社会科学部 中坂恵美子 教授 ほか
d) 宿泊場所： ホームステイを予定（1 人 1 家庭）

5-2. 第 18 回研修先の紹介：Flinders University

- a) フリンダース大学 <http://www.flinders.edu.au/>
フリンダース大学は、1966 年に創立されたアデレード市街の郊外に位置する公立大学で、全学的に WebCT を広範に活用するなど、革新的で質の高い授業と教授方法に定評があります。教育・人文・法学部、健康科学部、理工学部、社会・行動科学部によって構成されており、これまで世界 100 カ国から学生が集まり、留学生約 4,000 名を含む約 23,000 名の学生が学んでいます（2013 年の統計による）。広島大学とは 2008 年から協定を結んでいます。
b) アデレード市
フリンダース大学のある南オーストラリア州は、オーストラリア中央南部に位置し、アデレード市は人口 100 万人強の州都で、オーストラリアで 5 番目に大きな都市です。アデレード市には、国立アボリジニ文化研究所やアボリジニ文化展示館など原住民に関する施設、アデレードヒルズと呼ばれる美しい丘陵地帯、

郊外にはバロッサバレーというオーストラリアワインの名産地や、野生動物等が見られる景勝地カンガル一島があります。

6-1. 第19回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先：インドネシア共和国 マラン市 ブラウィジャヤ大学
- b) 実施期間： ① 事前研修：2014年6月～8月
② 渡航期間：2014年9月13日（土）～9月28日（日）（15泊16日）
※ 関西国際空港集合・解散
③ 事後研修：2014年10月4日（土）9:00-12:00（予定）
- c) 引率： 広島大学国際センター 中矢礼美 准教授 ほか
- d) 宿泊場所： ブラウィジャヤ大学構内にある UB ホテルを予定（2人1部屋）
- e) 注意事項： 出発までに A 型肝炎の予防接種を 2 回，大学指定の病院で受けて頂きます（費用は大学が負担）

6-2. 第19回研修先の紹介：Universitas Brawijaya

- a) ブラウィジャヤ大学 <http://www.ub.ac.id/>
ブラウィジャヤ大学（UB）は、1963年に設立された国立の総合大学で、約5万人の学生が12の学部（法学、経済ビジネス学、農学、工学、薬学、水産海洋学、数理科学、文化学など）で学ぶ、インドネシアをリードする大学の1つです。文化学部には日本語学科や日本教育学科があり日本語を勉強している学生が大勢います。教員の中にも広島大学の卒業生が複数います。広島大学とは1999年から協定を結んでいます。
- b) マラン市
ブラウィジャヤ大学のキャンパスがあるマラン市は東ジャワ州第二の都市で、州都のスラバヤから約90km南に位置しています。オランダ植民地時代にヨーロッパ人の避暑地として発展し、「東ジャワのパリ」とも呼ばれています。

7. 応募資格（選考基準）

- a) 広島大学に正規生として在籍する学部1年生（所属学部は問わない）
- b) 国際交流や留学に高い関心を持っており、参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること
- c) 事前学習・現地研修・事後学習のすべてに参加し、真剣に取り組むことができること
- d) プログラム終了後、事業評価や広報活動に全面的に協力できること
- e) 過去に、1ヶ月以上の海外渡航歴または14日間以上の海外研修経験（留学、語学研修、ホームステイ等）がないこと
※ただし13歳未満の経験については不問とする。また、海外研修経験が複数回ある場合は、通算日数が14日間を超えないこと
- f) 英語力を考慮して審査する

8. 選考方法

応募者数の多少に関わらず、書類審査及び面接による選考を行う。

9. 募集から帰国までの予定

2014年	5月2日(木)	募集要項を公開
	5月12日(月) 12:10-12:40	募集説明会開催（西第1福利会館多目的ホール）
	5月15日(木) 12:10-12:40	※2回とも同じ内容ですのでどちらかにご参加ください
	5月26日(月) 8:30～	応募書類受付期間(時間厳守)
	5月28日(水) 17:00	☞ オンライン入力後、国際交流グループへ申込書を提出

6月10日(火) 17:00まで	書類審査結果発表 (Myもみじ個人掲示)
6月13日(金), 16日(月), 17日(火)	面接審査(☞詳細はp.5-6)
6月18日(水) 17:00まで	面接審査結果発表 (Myもみじ個人掲示)
6月21日(土) 9:00-15:00	合同オリエンテーション(初回)【全員】(法・経済学部棟 255 講義室) *参加者顔合わせ, 今後の手続き説明など
6月23日(月)~28日(土)	A型肝炎予防接種1回目【インドネシア】(指定病院)
6月27日(金) 18:10-20:00	海外渡航リスク管理セミナー (法・経済学部棟 255 講義室)
6月30日(月) 18:00-19:30	事前講義【インドネシア】(教育学部 K棟 215 講義室)
7月1日(火) 18:00-20:30	事前講義(1)【オーストラリア】(法・経済学部棟 152 講義室)
7月3日(木) 18:00-20:00	国別オリエンテーション(1)【台湾】(法・経済学部棟, 教室未定) パスポート提出〆切【台湾】
7月10日(木) 18:00-20:00	国別オリエンテーション(2)【台湾】(法・経済学部棟, 教室未定)
7月11日(金) 17:00	パスポート提出〆切【オーストラリア】【インドネシア】
7月14日(月) 18:00-19:30	国別オリエンテーション【インドネシア】(教育学部 K棟 215 講義室)
7月14日(月)~19日(土)	A型肝炎予防接種2回目【インドネシア】(指定病院)
7月17日(木) 18:00-20:30	事前講義(2)【オーストラリア】(法・経済学部棟 152 講義室)
8月1日(金) 18:00-19:30	合同オリエンテーション(渡航前)【全員】(法・経済学部棟 255 講義室)
8月2日(土) 9:00-12:00	国別オリエンテーション【オーストラリア】(法・経済学部棟 152 講義室)
8月5日(火) 13:00-15:00	国別オリエンテーション(3)【台湾】(法・経済学部棟, 教室未定)
9月2日(火)~9月16日(火)	渡航期間(国内空港集合・解散)【台湾】
9月12日(金)~9月29日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【オーストラリア】
9月13日(土)~9月28日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【インドネシア】
10月1日(水) 18:00-20:00	事後研修【台湾】(法学部・経済学部棟, 教室未定)
10月4日(土) 9:00-12:00	事後研修【インドネシア】(学生プラザ4F 多目的室1・2)
10月上旬 放課後または土曜	事後研修【オーストラリア】(場所未定)

*このプログラムの参加学生は、上記の行事すべてに参加できることが条件です。

*上記の予定はやむを得ない状況などにより、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

10. 応募方法

下記1~4の書類を揃えて、**2014年5月26日(月)~5月28日(水)の8:30~17:00(厳守)の間に、国際交流グループ留学担当(学生プラザ3F)へ、応募者本人が提出し**に来てください。期間外の提出は一切受け付けません。なお、今回は、第17~19回(台湾, オーストラリア, インドネシア)の参加者の募集・選考を同時に行います。派遣先は第2希望まで申し込み可能です。

提出書類:

1. 第17-19回 START プログラム申込書 (オンラインフォームを入力後, PDFを印刷, 署名して提出)

※ オンラインフォームは後日、下記のページにてリンクを公開します

もみじ Top>学びのサポート>留学>START プログラム

URL: <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/start.html>

※ 5月19日(月)9:00~5月28日(水)17:00までの間の登録のみ、有効になります。

入力項目については本募集要項末尾の資料を参照のこと

2. 英語能力を証明する書類 (英検合格証, TOEFLやIELTSのスコアレポートなど)

※ 学内で実施された今年度第1回のTOEIC(IP)(5/17(土))の本試験受験者は証明書類の提出は不

要です。上記以外に各自で受験した TOEIC のスコアを使用する場合には、スコアレポートを提出してください。5/31（土）の学内 TOEIC 追試験の結果は間に合いませんのでご注意ください。

3. これまでに取得したパスポート（本体）の提示（すでに失効しているものも含む）

※ パスポートを取得したことのない学生は不要です

4. 学生証の提示（本人確認のため）

参加申込書入力上の注意

- a) オンライン入力を始める前に、この募集要項末尾に掲載している入力項目リストを確認し、志望理由書やパスポートの情報など、入力に必要な情報をすべて準備してください。途中でやめた場合、入力内容は保存されません。
- b) 確認画面で「同意して申込み」ボタンを押した後、入力フォームに戻ることは出来ません。よく確認して送信してください。必須項目に記入漏れがある場合は「同意して申込み」ボタンが表示されません。
- c) 一度入力・送信した後に、再度入力・送信を行うと、複数のデータが登録されます。その場合は、窓口での提出の際に、複数回送信した旨と、何月何日の何時に入力したものを申請に使用するかを申告してください。
- d) 確認画面のあとに、PDF をダウンロードして終了する画面が出てきます。「ダウンロード」と「終了」の2つのボタンがありますが、先に「終了」すると PDF がダウンロードできなくなってしまうので注意して下さい。万が一「終了」してしまった場合は、再度入力はせず、窓口にご相談にきてください。
- e) 国籍を複数有している場合は全てを記載してください。
- f) 電話番号とメールアドレスは、必ず連絡のつくもの、毎日確認するものを記入してください。日常的に使用している PC メールが無い場合は、広大メールアドレスを記入し、今後これを確認するようにしてください。
- g) 保護者または保証人の E-mail アドレスは使用しているものがある場合のみ記入してください。
- h) 渡航中の連絡先は、主に渡航中の緊急時に使用するものですので、必ず連絡のつく電話番号を記入してください。
- i) 健康面などで特別なサポートが必要な場合は、健康状態の欄に出来るだけ具体的に記入してください。
- j) 申込み・参加にあたり懸念事項がある場合には、特記事項欄に記入してください。
- k) オンラインフォームを入力しても、窓口への提出をするまで申込みは完了しませんのでご注意ください。
- l) 入力した項目に事実と異なる記載があれば、いかなる理由においても失格とみなします。万が一、参加決定後にこのような事態が発覚した場合には、その時点で参加資格を失いますので、よく注意してください。特に過去の渡航歴等においては、各自でよく確認しておいてください。

11. 選考方法と結果の発表

- a) 書類審査の結果は 2014 年 6 月 10 日（火）17:00 までに「My もみじ個人掲示」にてご連絡しますので、各自で確認してください。万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。
- b) 書類審査通過者は、面接を行いますので、必ず指定された日時の面接に出席してください。各自の面接時間は、書類審査の結果と一緒にご連絡します。この面接に出席できない方は、参加することができませんのでご注意ください。

待機場所：書類審査結果通知で確認のこと

日 時：2014 年 6 月 13 日（金）16:20～19:30（オーストラリア候補者）

6 月 16 日（月）16:20～19:30（インドネシア候補者）

6 月 17 日（火）16:20～19:30（台湾候補者）

} 1人5分程度

面接の結果は 2014 年 6 月 18 日（水）17:00 までに「My もみじ個人掲示」にてご連絡します。

- c) 選考に合格した方は、必要書類の提出と参加費用の振り込みをもって正式に参加者として決定します。手続きの詳細は、6 月 21 日（土）のオリエンテーション①でご案内します。
- d) 応募者多数の場合、各プログラムにつき 5 名まで次点候補者（キャンセル待ち）を選出します。
- e) 書類・面接とも審査結果についての問合せ・苦情は一切受け付けませんので予めご了承ください。

12. その他注意事項

- a) 必ず保護者または保証人の方の同意を得てから申し込んでください。参加内定後に参加学生および保護者／保証人より同意・誓約書を提出して頂きます。
- b) **第17回台湾参加者は2014年7月3日(木)、第18回オーストラリアと第19回インドネシア参加者は2014年7月11日(金)までにパスポートのコピーが提出できない場合、参加できません。**有効なパスポートをお持ちでない方は、すぐに申請することをお勧めします。どうしても参加が決定するまでは申請するのが難しいという場合でも、申請に必要な書類についてはあらかじめ準備しておいてください。パスポートの申請には、住民票、戸籍抄本など役所から取り寄せなければならない書類や、未成年の場合は申請書に保護者の署名が必要で、実家が遠方の方は必要書類をそろえるのに時間がかかります。また、申請から受領までに通常8日程度(土日祝を除く)かかり、必ず申請者本人が申請した役所の窓口に取りに行く必要があります。詳しくは下記ホームページを参照してください。
【外務省】http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html
【東広島市】<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/16/passport-uketori.html>
パスポート取得の遅れにより参加できなくなった場合にも、広島大学は責任を負いません。
- c) **参加者には全てのオリエンテーションと事前講義、リスク管理セミナー、事後研修への出席が義務付けられています**ので、3-4ページの予定表に書かれている日程を必ず空けておいてください。自己都合(アルバイトやサークル活動なども含む)によりオリエンテーション、事前講義、リスク管理セミナーに欠席した方は参加を取り消す場合があります。
- d) 申請書の記載事項に変更があった場合には速やかに担当者に連絡してください。
- e) 自然災害、国際情勢や航空会社、研修先などの事情により急な中止ならびに変更が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
- f) 参加者には緊急対策として全員、現地で使える携帯電話を各自で準備していただきます。
- g) 第19回インドネシアに参加される方は、参加が決まったら、大学の指定する病院で指定された期間に2回、A型肝炎の予防接種を受けて下さい。この予防接種費用は、大学が負担します。

13. Q&A

- Q. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」の授業登録をせずに、STARTプログラムに参加することはできますか？
- A. いいえ、できません。参加が決まった学生は国際交流グループにて登録手続きを行います(もみじでの登録はできません)。
- Q. 英語力はどのくらい必要ですか？
- A. どのプログラムでもほとんどの講義は英語で教授されますし、現地の人々と英語や現地語で交流したりする機会が多くありますので、ある程度の英語力及び英語や渡航先の公用語でコミュニケーションを取ろうとする意欲や積極性が求められます。
- Q. 申込書に記入する海外渡航経験に、海外旅行は含まれますか？
- A. はい。個人旅行や修学旅行、留学、家族との移住など、海外に渡航した経歴はすべて記入してください。広島大学のプログラムの場合は、プログラム名も記載してください。
- Q. 外国籍の学生でも申し込めますか？
- A. はい、申し込めます。国籍は問いません。
- Q. 参加が決めた後、途中で自己都合により参加を取り消した場合、キャンセル料が発生しますか？
- A. 原則、パスポート提出期限日以降にキャンセルした場合、返金されません。

Q. 次点候補者（キャンセル待ち）の場合、いつまでに参加できるかどうか分かりますか？

A. キャンセルが出た場合は、各コースのパスポート提出〆切日までにご連絡します。その時点でパスポートを所持していない場合は、権利が次の方に移りますのでご注意ください。

Q. このプログラムに参加すると、交換留学やHUSAのショートプログラム、その他の留学プログラムへの応募の際、影響がありますか？

A. 国際交流グループが担当する留学プログラムについては、原則として、STARTプログラムへの参加が他の留学プログラムへの妨げになることはありませんが、給付奨学金やプログラム費等の経済支援を伴う短期（1ヶ月未満）のプログラムの場合は、優先順位が下がる可能性があります。各学部等が実施するプログラムについては、それぞれの担当窓口にお問い合わせください。

Q. お小遣いはいくら持っていけばいいですか？

A. 個人差もありますしレートや渡航先にもよりますが、目安としては3-5万円程度あれば十分でしょう。滞在中の食事代もお小遣いの中から支払うことになるので、その費用とお土産代と考えてください。

Q. 第19回インドネシアに参加するための予防接種は指定病院で受けなければいけませんか？かかりつけの病院ではダメですか？

A. 指定以外の病院で受けても構いませんが、その場合は費用が自己負担になり、別途、証明書を提出していただく必要があります。

その他、東南アジアへの渡航に際してはB型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

<問合せ先>

広島大学教育・国際室 国際交流グループ

（学生プラザ3F） 担当：吉永

TEL:082-424-4346 FAX:082-424-4545

E-mail: start@hiroshima-u.ac.jp

オンライン申込みフォーム 入力項目一覧

1. 申請するプログラム (第1希望, 第2位希望)

2. カナ氏名

3. 漢字氏名

4. ローマ字氏名

5. 学部・学科

6. 学生番号

7. 生年月日

8. 性別

9. 国籍

2~8 の項目については、学籍番号に基づいて自動的に入力されますので、確認して下さい。また、「ローマ字氏名」が学籍で登録されている綴りとパスポートの綴りと異なる場合は、パスポートの綴りに合わせて入力し直してください。

10. 海外渡航経験の有無 ※有りの場合は出来るだけ詳しく書いて下さい。(国・期間・目的など)。

例：「1999年5月1-3日(3日間)家族旅行・マレーシア」

11. 英語能力

○5/17に大学で受験したTOEIC IPテスト(第1回)の成績を使用することに同意します。

○5/17に大学で行われたTOEIC IPテスト(第1回)を受験していませんので、語学能力を証明する別の資料を提出します。

* 語学能力を証明する資料の詳細

例：「英検準2級 2012年9月合格」、「TOEIC公式テスト 8月10日受験 530点」

○5/17のTOEIC IPテストを受験しておらず、語学能力を証明する別の資料もありません。

12. パスポートの有無(すでに失効したものも含む)

※有効なものがある場合は、有効期限とパスポート番号を記入；失効したものがある場合は失効日を記入

13. 健康状態 ○良好 ○配慮が必要 ○アレルギーなど

14. 現住所

15. 電話番号(携帯)

16. メールアドレス(携帯)

17. メールアドレス(パソコン)

18. 保護者または保証人氏名, 続柄

19. 保護者または保証人住所

20. 保護者または保証人電話番号

21. 保護者または保証人メールアドレス

22. 渡航中の緊急連絡先電話番号

23. その他, 特記事項

24. 面接予定日の授業の有無 ※授業以外の事由による面接日時調整はできません

25. アンケート：STARTプログラムを何で知りましたか？

26. 志望理由書(このプログラムに参加して学びたいこと、経験したいことは何ですか？また、その学びや経験を、今後どのように生かしていきたいですか？(1000文字以内))

27. STARTプログラム申込みにあたっての注意事項同意確認

「上記、記載事項はすべて事実と相違ありません。事実と異なる記載をしたことが判明した場合、参加資格を失うことを了解しています。また、第17-19回STARTプログラム募集要項をよく読み、プログラム内容及び注意事項をすべて理解し、同意しています。」

※ 入力した内容を再度確認してから、「同意して申込み」ボタンを押してください。

※ この申込書に入力していただく個人情報は、STARTプログラムの運営のために利用するものであり、この目的以外で利用したり第三者へ提供したりすることはありません。